

令和6年 上伊那地域 県政「おもなできごと」 項目一覧

2月

- ◆ 産官4団体で組織する「ゼロカーボン・シンポジウム」を開催【地域振興局 環境・廃棄物対策課】
- ◆ 第33回「農業農村整備事業広報大賞優秀賞」受賞【地域振興局 農地整備課】

3月

- ◆ 上伊那難病対策地域連絡会議を開催【伊那保健福祉事務所】

5月

- ◆ 上伊那地域行政連絡会議を開催【地域振興局 総務管理課】
- ◆ 「第52回上伊那地区障がい者スポーツ大会」を開催【伊那保健福祉事務所】

6月

- ◆ 上伊那管内の県税収入歩合が3年連続で過去最高を記録【南信県税事務所】

7月

- ◆ 人口戦略策定に向けた意見交換の実施【地域振興局 企画振興課】
- ◆ 就業促進・働き方改革戦略会議上伊那地域会議の開催【地域振興局 商工観光課】
- ◆ 県営住宅大萱団地 A-2 棟が完成【伊那建設事務所】

8 月

- ◆ **女性農業者 2 団体が初めて合同研修会を開催**
【地域振興局・農業農村支援センター】
- ◆ **強度行動障がい者専用棟「すずらん棟」が竣工**【伊那保健福祉事務所】

9 月

- ◆ **遠州灘 海洋ごみ拾いイベントを開催**【地域振興局 環境・廃棄物対策課】
- ◆ **地域材サイト「きとくらす上伊那」の開設**【地域振興局 林務課】
- ◆ **棚田 PR 活動 in 名古屋**【地域振興局 農地整備課】
- ◆ **上伊那地域観光 PR イベント in 名古屋開催**【地域振興局 商工観光課】
- ◆ **「令和 6 年度第 1 回長野県公営企業経営審議会」を開催**【南信発電管理事務所】

10 月

- ◆ **衆議院議員総選挙**【地域振興局 企画振興課】
- ◆ **第 52 回「上伊那都市植樹祭」を伊那市で開催**【地域振興局 林務課】

11 月

- ◆ **長野県災害対策本部上伊那地方部運営訓練を開催**【地域振興局 総務管理課】

通年・期別

- ◆ **「花の大産地 上伊那」認知度向上プロジェクト「はな（花）高々い〜な（伊那）」（略称「花プロ」）がスタート**
【地域振興局 農業農村支援センター】
- ◆ **砂防事業完成報告会を開催**【伊那建設事務所】
- ◆ **ツキノワグマの出没多発**【地域振興局 林務課】
- ◆ **かえるプロジェクト「上伊那版」の試行**【地域振興局 総務管理課】
- ◆ **棚田パートナーシップ協定締結**【地域振興局 農地整備課】
- ◆ **「農業用水探検隊」の見学コースを拡充して開催**
【地域振興局 農地整備課】

令和6年 上伊那地域 県政「おもなできごと」

2 月

◆ 産官4団体で組織する「ゼロカーボン・シンポジウム」を開催 【地域振興局 環境・廃棄物対策課】

「上伊那ゼロカーボンプラットフォーム※」のキックオフイベントとして、2月22日に「ゼロカーボン・シンポジウム」を開催しました。

立命館大学経営学部教授のラウパッハ・スミヤヨーク氏及び信州大学人文学部准教授の茅野恒秀氏の講演に続き、参加者同士で意見交換を行いました。

6月には上伊那ゼロカーボンカフェ、9月には中小企業向けのエネルギー対策実践セミナーを通じ、課題解決や取組推進に向け、産学官の認識が深まっています。

※ゼロカーボンの実現に向け、令和5年10月に発足。

(長野県経営者協会 上伊那支部、上伊那広域連合、長野県上伊那地域振興局、長野県産業振興機構伊那センター・リサイクルシステム研究会)



◆ 第33回「農業農村整備事業広報大賞優秀賞」受賞【地域振興局 農地整備課】

パンフレットやカード・缶バッジ等の広報ツールを活用し、棚田の魅力・機能を発信する取組が評価され、第33回「農業農村整備事業広報大賞※ 優秀賞」を受賞しました。

今回の受賞を励みに、引き続き関係市町村や、日頃から棚田を守ってくださる皆様と協力して、棚田をはじめとする地域の農業資産の魅力について広く発信してまいります。

※農業農村の振興に向けた広報活動の面で特に顕著な功績があった団体を表彰するもの。

全国から推薦のあった42地区(41団体)のうち、大賞2団体、優秀賞8団体が受賞。



3 月

◆ 上伊那難病対策地域連絡会議を開催【伊那保健福祉事務所】

3月13日に、難病患者の関係者を対象に、第1回の上伊那難病対策地域連絡会議を開催しました。

能登半島地震を契機とし、災害等の停電時における難病患者への対応や技術の向上をテーマに、上伊那地域振興局と共催して研修を行いました。

人工呼吸器や吸引器等が生活に不可欠な方々にとって、停電は命にかかわる問題です。自動車メーカーの協力のもと、災害発生時の対応について、理解を深めることができました。



5月

◆ 上伊那地域行政連絡会議を開催【地域振興局 総務管理課】

地元選出県議会議員（5名）と管内県現地機関（14機関）の所属長が出席し「上伊那地域行政連絡会議」を5月30日に伊那合同庁舎にて開催しました。

当日は「かえプロ上伊那版」の取組により「ペーパーレス方式」を初めて導入し、「リニア時代を見据え、しあわせと活力あふれる伊那谷の実現を目指し」幅広い分野での現状と課題、県の施策等について活発な意見交換が行われました。



◆ 「第52回上伊那地区障がい者スポーツ大会」を開催【伊那保健福祉事務所】

5月25日に、障がい者の自立・社会参加、交流促進などを目的とした「上伊那地区障がい者スポーツ大会」を、伊那市陸上競技場で開催しました。

上伊那地域に居住する障がい児・者127人の選手の皆さんが、学生ボランティア、スタッフと一緒に、さわやかな青空のもと陸上競技やニュースポーツ「モルック※」を楽しみ、会場に笑顔の輪が広がりました。



※フィンランドの伝統的なゲームを元に開発されたスポーツで、地面に立て並べられた複数の木のピンをめぐらして、モルックという木の棒を投げ、獲得した点数を競うスポーツ

6月

◆ 上伊那管内の県税収入歩合が3年連続で過去最高を記録【南信県税事務所】

令和5年度決算の結果、上伊那管内の県税収入歩合が、前年度と同率の99.4%となり、3年連続で過去最高となりました。

給与所得の増加等による個人県民税の収入額増加や、状況に応じた効果的な徴収対策が主な要因です。

7月

◆ 人口戦略策定に向けた意見交換の実施【地域振興局 企画振興課】

7月19日、人口減少対策を進める戦略策定に向け、上伊那の未来を担う多様な業種の皆様と、「人口減少下でも生き活きと暮らせるリニア時代の上伊那の条件とは」をテーマに、関副知事を交えて意見交換を行いました。

上伊那地域の豊かな自然や人柄の良さが上伊那の魅力であるとの意見の一方、ものづくり産業の担い手となる女性の増加、リニア開通に向けた移動手段の確保が必要との意見が出されるなど、2050年の理想的な上伊那の姿に向け、活発に意見が交わされました。



◆ 就業促進・働き方改革戦略会議上伊那地域会議の開催【地域振興局 商工観光課】

7月4日に「外国人材確保について」をテーマに、「就業促進・働き方改革戦略会議上伊那地域会議」を開催しました。

当日は上伊那で働く外国人の方から日本での暮らし、労働や文化の違い等に関する報告をいただき、外国人材支援団体、企業、行政等に所属する方々とのグループディスカッションにより、外国人材確保に関する課題について理解を深めました。



◆ 県営住宅大萱団地 A-2 棟が完成【伊那建設事務所】

7月22日に伊那市 西箕輪において建設していた県営住宅大萱（おおがや）団地 A-2 棟が完成しました。

この団地は高性能断熱・省エネ設備・太陽光発電の ZEH[※] 水準で建替えられ、44 戸全て入居がなされました。

今後、古い住棟を取壊した後、B 棟及び集会場の建設を順次進めていきます。



※ZEH（ゼッチ）とは、生活で消費するエネルギーよりも生み出すエネルギーが上回る住宅のことで、Net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の略語

8月

◆ 女性農業者2団体が初めて合同研修会を開催

【地域振興局・農業農村支援センター】

農業の活性化に向け、これまで異なる立場で活動してきた「農村生活マイスター協会※¹」と「JA 上伊那生活部会※²」の2団体が初めて合同研修会を開催しました。

全国の優良農家の取組を紹介するドキュメンタリー映画「百姓の百の声」を鑑賞後、互いの活動状況や、やりがいなどのテーマでワークショップを開催しました。

活発な議論を通じ、今後両団体の一層の連携が期待されます。



※1 地域農業の振興、望ましい農家生活の推進及びむらづくり活動などに女性の立場から取り組む地域の実践的リーダー。研修を経て知事が認定。

※2 JA 上伊那の組合員とその家族で構成する女性団体。食・健康・福祉・環境・文化など、豊かな暮らしづくりに向けた活動を実施している。

◆ 強度行動障がい者専用棟「すずらん棟」が竣工【伊那保健福祉事務所】

8月6日、長野県西駒郷で、県が設置した強度行動障がい者専用棟「すずらん棟」の竣工式が行われました。

強度行動障がい※のある方が、ハード面、ソフト面で様々に配慮された生活環境の中で「生きづらさ」を軽減し、「望む暮らしを実現」するための支援の推進が期待されます。



※自傷や他害など本人や周囲の人のくらしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態のこと

9月

◆ 遠州灘 海洋ごみ拾いイベントを開催【地域振興局 環境・廃棄物対策課】

海洋プラスチックごみの約7～8割が、内陸から河川を経て海に流出しているといわれています。このため、実際に天竜川河口を訪問し、海洋ごみ拾い、ウミガメ放流の体験を通じ、「信州プラスチックスマート運動」の意識高揚を図るため、9月16日に「遠州灘 海洋ごみ拾いイベント」を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、小学校高学年から60代まで、40名の参加がありました。「ごみの多さに驚いた」「分別などをこれまで以上に意識していきたい」といった声も聞かれ、プラスチックごみ削減を進めていく、よいきっかけとなりました。



◆ 地域材サイト「きとくらす上伊那」の開設 【地域振興局 林務課】

地域課題の解決のため、県民の皆様からご提案いただく「県民参加型予算」を活用し、事業者、市町村、県をメンバーとした『上伊那地域材利活用促進協議会』を設立し、地域材に実際に触れる機会を作り、地域材の加工・消費を促進する取組を始めました。



具体的には、上伊那の地域材に関するインターネットサイト「きとくらす上伊那」の開設 (<https://kitoina.org/>) のほか、地域材の木製品に直接手に触れる機会を作る「アンテナショップ」の開設（令和7年2月伊那市駅前商店街）、地域材の家具や器等の製品に触れたり、箸づくりなどの木工体験もできるイベント「森の青空市」を開催しました（7月—箕輪町、10月—飯島町、11月—伊那市）。

来場者から木のぬくもりに触れ、地域材を身近に感じられるよい機会となったとの声を頂きました。今後もサイトとアンテナショップを中心に地域材の魅力を発信し、地域材の消費を促進する活動を積極的に展開します。

◆ 棚田 PR 活動 in 名古屋 【地域振興局 農地整備課】

9月7日～8日に名古屋市サカエチカにおいて、地域振興局 商工観光課や農業農村支援センターと連携して上伊那観光 PR イベント in 名古屋サカエチカを開催しました。

農地整備課では、上伊那地域の棚田やため池などの農業資産のオリジナル缶バッジやチラシを配布し、PRを行いました。



◆ 上伊那地域観光 PR イベント in 名古屋サカエチカを開催 【地域振興局 商工観光課】

9月7日～8日に名古屋市サカエチカ 大同特殊鋼 phenix スクエアで、(一社)長野伊那谷観光局、伊那市、駒ヶ根市や、当局農地整備課、上伊那農業農村支援センターが連携し上伊那の観光PR事業を開催しました。

名産品の抽選会やアルクマ、観光パンフレット配布、棚田や上伊那産花きのPRを行い、1,500名を超える方々に上伊那の魅力をお伝えしました。



◆ 「令和6年度第1回長野県公営企業経営審議会」を開催【南信発電管理事務所】

企業局の経営に関する重要な事項について審議する「長野県公営企業経営審議会」を今年度初めて伊那市の南信発電管理事務所で開催しました。

伊那市春近発電所の視察や、新規電源開発、基幹発電所大規模改修の進捗状況などの説明を行いました。委員の皆様からは、森や水の恵みなど長野県のポテンシャルを活かした電源開発を積極的に推進すべきなど、貴重なご意見をいただきました。



10月

◆ 衆議院議員総選挙【地域振興局 企画振興課】

10月27日に第50回衆議院議員総選挙及び第26回最高裁判所裁判官国民審査が行われました。

投票率：上伊那 62.79%（全県 57.21%）

前回、上伊那地域の投票率は県平均を2%程度下回りましたが、今回は5%以上上回りました。



◆ 第52回「上伊那郡市植樹祭」を伊那市で開催【地域振興局 林務課】

10月18日、「令和6年度上伊那郡市植樹祭」が伊那市横山の『市民の森』で開催されました。

隣接する鳩吹公園での式典では地元伊那西小学校と西春近南小学校の代表による「みどりの誓い」などが行われました。

同校児童、林業関係者など約200名により、アカマツを伐採したエリアへのカラマツ100本とイロハモミジ50本の植栽と、除伐作業を行い、次世代へ引き継ぐ森づくりを行いました。



11 月

◆ 長野県災害対策本部上伊那地方部運営訓練を開催【地域振興局 総務管理課】

11月27日に「長野県災害対策本部上伊那地方部運営訓練」を開催しました。

南海トラフ巨大地震の発生を想定し、実際に箕輪町、中川村役場に職員を派遣して情報収集するとともに、伊那合庁の講堂で被害情報を集約し、地方部会議を開催しました。

今年度は、能登半島地震で課題が顕在化した孤立集落の発生を想定し、情報収集に有効なドローンについての研修会を行い、災害時のドローンの活用についての理解を深めました。



通年・期別

◆ 「花の大産地 上伊那」認知度向上プロジェクト「はな（花）高々い～な（伊那）」（略称「花プロ」）がスタート

【地域振興局 農業農村支援センター】

上伊那地域振興局では、5月23日に、伊那合同庁舎で県内有数の「花の大産地 上伊那」の認知度向上プロジェクト（略称「花プロ」）のキックオフイベントを開催しました。

当日は、上伊那を代表する花き「アルストロメリア」を使ったフラワーアレンジメント講座、トークショーを開催し、多くの参加者、来場者に上伊那の花の魅力をお伝えすることができました。

「花プロ」では、キックオフ以降、上伊那の旬の花の展示や代表的な花の「花カード」の作成、専用ホームページの開設、地元の上伊那農業高校と連携した「花プロ授業」など、花にまつわる取組を一年を通じて実施しました。



◆ 砂防事業完成報告会を開催【伊那建設事務所】

6月16日に辰野町伊那富 砂防河川楡沢、11月6日に中川村美里 砂防河川谷田川において、地元住民の皆さんに、整備を進めていた砂防えん堤等の完成報告会を開催しました。

この砂防えん堤等の整備により、土石流災害を未然に防止し下流域の人家、学校、公民館、国道などの保全が期待されます。

過去に土石流が発生し、人家に土砂が流入する被害等が発生したこともあり、今回の砂防えん堤の完成で地域住民の皆様から感謝の言葉を頂きました。



◆ ツキノワグマの出没多発【地域振興局 林務課】

5月に県内の里地におけるクマの目撃件報が106件と平常年の1.8倍となったことに加え、6月初旬に県内で人身被害が2件、続けて発生したことから、6月5日、全県に『ツキノワグマ出没注意報』が発出されました。

また、9月6日現在で、県内で8件の人身被害が発生するとともに、里地での目撃件数が、平常年の2倍を超えていることなどから、9月9日、上伊那を含む県下5地域に対し、初めて『ツキノワグマ出没警報』を発出しました。

これを受け、地域振興局、市町村、クマ対策員、地元猟友会などからなる『広域連携クマ対策チーム』が、クマが目撃された箇所の緊急点検を実施し、捕獲檻の設置や住民による藪の刈払いなどを行いました。

こうした取組の結果、注意報発出後、管内での人身被害はありませんでした。



◆ かえるプロジェクト「上伊那版」の試行【地域振興局 総務管理課】

職員が「明るく・楽しく・前向きに」仕事ができる組織風土創りを目指し全県で取り組む「かえるプロジェクト」について地域の特性を活かした「上伊那版」を試行中です。

リニア時代を担う若手職員が比較的多い上伊那では、職員のやりがいを育み成長を支援する目的で「地域振興協力研修」など様々な取組を展開しています。

- 棚田田植え～収穫体験・観光PR体験・農業用水探検隊
- 防鹿柵設置体験・植樹祭・よもやまミーティング など



◆ 棚田パートナーシップ協定締結【地域振興局農地整備課】

棚田の保全に取り組む生産者と、企業・学校等の多様な主体を結びつけ、継続的な保全活動を支援する「棚田パートナーシップ協定」が、山室の棚田（伊那市高遠町）で2件、中尾の棚田（伊那市長谷）で1件締結されました。

協定締結を契機に、さらなる地域の活性化に繋がることを期待するとともに、引き続き関係機関と連携して棚田の魅力発信に努めます。

【協定概要】

○山室の棚田（協定者：農事組合法人やまむろ）

協定先		協定内容
①	株式会社仙醸 高遠旨い酒研究会	棚田で生産された酒米を原料とした日本酒の醸造、企画・販売及び情報の発信
②	合資会社 宮島酒店	

○中尾の棚田（協定者：株式会社 Wakka Agri）

協定先		協定内容
③	信州大学農学部	棚田をフィールドとした教育・共同研究の促進



◆ 「農業用水探検隊」の見学コースを拡充して開催【地域振興局 農地整備課】

地域の農業を支える農業用水路等を見学し、施設を造った先人の偉業や農業の大切さを学習していただくため、小学4年生の社会科の授業の一環として、土地改良区や市町村、農家の皆さんと連携して、農業用水探検隊を9月から11月にかけて開催しました。

本年度は、天竜川右岸側の西天竜幹線用水路等の見学コースに加え、天竜川左岸側の農地を開発するために江戸時代に造られた伝兵衛井や、昭和30年代の三峰川総合開発で整備された高遠ダムや水路橋等の施設を見学するコースを新設し、過去最多となる10校、600名の児童、先生方に参加いただきました。

身近にある農業用水路等の歴史や役割を学び、地域に愛着を持つことで、将来にわたり施設が適切に維持管理されていくよう引き続き、取り組んでまいります。



こども
まんなか

みんなでつくろう!こども・子育てに優しい信州

2050 ZERO
CARBON
NAGANO

2050ゼロカーボンを目指す長野県のシンボルマークです

(問合せ先)

<p>担当：上伊那地域振興局総務管理課 電話：0265-76-6800 ファクシミリ：0265-76-6804 E-mail：kamichi-somu@pref.nagano.lg.jp</p>	<p>担当：南信県税事務所総務課 電話：0265-76-6805 ファクシミリ：0265-76-6809 E-mail：zei-nanshin@pref.nagano.lg.jp</p>
<p>担当：伊那保健福祉事務所総務課 電話：0265-76-6835 ファクシミリ：0265-76-7033 E-mail：inaho-somu@pref.nagano.lg.jp</p>	<p>担当：伊那建設事務所総務課 電話：0265-76-6845 ファクシミリ：0265-76-6850 E-mail：inaken-somu@pref.nagano.lg.jp</p>
<p>担当：南信発電管理事務所 電話：0265-72-6121 ファクシミリ：0265-78-8050 E-mail：nanhatsu@pref.nagano.lg.jp</p>	